

えこくる江東 常設展示室ごみ戦争コーナー リニューアル

ごみ戦争を通じて、江東区が果たした役割から 未来に向けたメッセージを発信

環境学習情報館「えこくる江東」1階常設展示室に設置している、「ごみ戦争」について紹介したコーナーを2月より充実しました。今回のリニューアル展示では、大きく4つの展示を展開しています。東京のごみ問題に本区が果たした役割、そしてこれからも一人ひとりがごみ問題を「じぶんごと」として考え、行動していくことについて展示リニューアルを通して発信しています。

☎ 温暖化対策課環境学習情報館 ☎3644-7130、FAX3644-7135

1 パネル展示：江東区の埋立てやごみの歴史を紹介

江戸時代から現代までに至る江東区の埋立てやごみとの関わりについて、年表や地図により、その歴史を紹介しています。

2 映像展示：ごみ戦争の歴史から区が果たした役割を映像紹介

江東区とごみ戦争の歴史を映像で振り返ります。標準版と短縮版の映像があり、多言語(英・中・韓)に対応しています。当時のタスキや配布したチラシなど現物資料も展示しています。

3 体験展示：ごみ戦争に関するクイズやゲームを体験展示

左右に動くことでクイズに答えたり、ゲームを楽しめる体験型展示です。クイズではごみ戦争に関する問題に3問挑戦できます。その後のゲームは、当時、ハエが大発生した出来事を題材としています。

4 パネル・モニター展示：資源循環型社会の実現を目指す取り組みや課題を紹介

ごみの減量をはじめとした現在のさまざまなごみ問題を中心としたトピックスを、パネルやモニターのスライドで学ぶことができます。

えこくる江東 1階常設展示室

ごみ戦争とは…

昭和30年代以降、都内のごみの量が爆発的に増え続けたため、埋立処分場を抱える江東区に清掃車が集中し、渋滞、騒音、悪臭等に長年悩まされてきましたが、各区の清掃工場建設は進展しない状況が続きました。これを受けて東京都知事は、徹底的にごみ対策を進めるとして「ごみ戦争」を宣言しました。一方、江東区は都や22区に対して、ごみは自分の地域で処理する「自区内処理の原則」と、ごみ処理負担を23区で公平にする「迷惑負担公平の原則」を求めました。これらの行動が、その後の東京のごみ問題解決への礎となりました。

▲東京中の大量のごみが集まった夢の島埋立処分場(昭和40年頃)

▲清掃工場建設反対運動が起こった杉並区からの清掃車を阻止(昭和48年)

えこくる江東(環境学習情報館)

えこくる江東は1階常設展示室でごみ問題や環境問題を体感しながら学べるほか、環境学習イベントを行っています。イベントは定期的に区報に掲載しているほか、ホームページからもご覧になれます。ぜひご利用ください。

住所：潮見1-29-7
 開館時間：9:00～17:00
 (常設展示室は9:30～17:00、最終入館16:30)
 休館日：毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)と年末年始